

2019.8.3



龍ヶ崎ゲヴァントハウス【オリジナルCDコンサート】

## 夏の避暑地・保養地と旅先で生まれた名曲を聴く

### プログラム

多くの名曲はどのようにして生まれたのでしょうか。歴史を辿ってみると、夏の避暑地や保養地、また旅先の思い出や印象など、普段の生活から解放され、変化が生まれた時に誕生していることが分かります。今日はそんな名曲の誕生秘話を紐解きながら、大作曲家達の思いに耳を傾けていただきたいと思います。ショパンの幻想曲は1841年に作曲され、幻想曲としては唯一の作品です。当時ショパンは結核に冒されましたが、女流作家ジュルジュ・サンドとの恋愛関係にあったショパンが、彼女の田舎の住宅地ノアンで手厚い看護を受けながら作曲されました。最も幸せな生活を送っていた頃の作品で、ショパンの傑作のひとつに数えられています。チャイコフスキーの「フィレンツェの思い出」は1890年に歌劇「スペードの女王」を書き上げるためにフィレンツェに滞在中に着想され、モスクワに戻ったチャイコフスキーはモスクワから北西約80キロにあるクリンの町からさらに7キロの先のフローロフスコエという村にある貴族の館を住居として借り、ここに閉じこもってこの作品を書き上げました。彼の室内楽を代表する傑作です。エルガーの序曲「南国にて」は、1903年12月、イタリアのジェノアとニースの間にある海沿いの小さな街アラッソに家族で保養に出かけ、滞在中に見た建物や風景、歴史からインスピレーションを得て作曲されました。開放的な響きを持った鮮やかなオーケストレーションに魅了される秀曲です。ブラームスのクラリネット五重奏曲は1891年、優れたクラリネット奏者だったリヒャルト・ミュールフェルトに出会い、クラリネットのための作品を4曲書き上げました。1891年の夏、オーストリア北部に位置する“バート・イシュル”という避暑地で作曲されたのがクラリネット五重奏曲です。クラリネットの音色と技巧を巧みに生かしながらブラームス独特の哀愁と美しさが発揮された晩年の傑作です。ベートーヴェンの交響曲第8番は1812年の夏、ポヘミアの温泉療養地テプリッツやカールスバート滞在中に書かれた作品で、小粒ながら、明るくユーモアに溢れ、念入りに構成された密度の高い充実した内容を持つ名曲です。

\*\*\*\*\*

#### フレデリック・ショパン (1810~1849):

##### 幻想曲ハ短調op.49

マレイ・ペライア(ピアノ)

(1996.1.16 ウィーン・コンツェルトハウス大ホールでのLive)

#### ピョートル・チャイコフスキー (1840~1893):

##### 弦楽六重奏曲ニ短調op.70「フィレンツェの思い出」～第1楽章、第2楽章から、第4楽章

ベルリン・フィル・カンマーゾリステン

安永 徹 (ヴァイオリン) / アレッサンドロ・カツポーネ (ヴァイオリン)

ウォルフラム・クリスト (ヴィオラ) / ウォルター・クスナー (ヴィオラ)

ルートヴィヒ・クヴァント (チェロ) / ソレーヌ・ケルマレック (チェロ)

クラウス・シュトール (コントラバス)

(2009.2.1 ベルリン・フィルハーモニー室内楽ホールでのLive)

#### エドワード・エルガー (1857~1934):

##### 序曲「南国にて」

リッカルド・ムーティ指揮スカラ・フィルハーモニー管弦楽団

(1995.9.13 オーチャードホールでのLive)

\*\*\* 休憩 \*\*\*

#### ヨハネス・ブラームス (1833~1897):

##### クラリネット五重奏曲ハ短調op.115～第1楽章、第3楽章、第4楽章

サビーネ・マイヤー(クラリネット) / 東京カルテット

(2002.3.14 東京オペラシティ・コンサートホールでのLive)

#### ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン (1770~1827):

##### 交響曲第8番ハ長調op.93～第1楽章、第2楽章、第4楽章

小澤征爾指揮ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団

(1987.6.2 ベルリン・フィルハーモニーホールでのLive)

★ホームページアドレス <http://gewandhaus.sakura.ne.jp/wp/>